

2015 年度 利活用・普及委員会の活動計画（案）

1. 委員会について

（1）社員、自治体会員、賛助会員等の活動発表・マッチングの場とする

- ・社員、賛助会員、自治体会員、オブザーバ等から、オープンデータや地方創生などに関連する活動や、商品・サービス等の発表と、意見交換の場とする。
- ・この発表を契機に、会員同士での連携につながるとより望ましい。

（例）

- ・自治体等からのオープンデータ関連のシンポジウムやコンテストなどのイベントの情報提供・参加呼びかけ。
- ・アイデアソン、ハッカソンなどの開催結果の報告。
- ・社員、賛助会員等からの、オープンデータやデータ活用、地方創生に有用な商品・サービスの紹介と質疑応答。
- ・国の関連政策等の紹介と意見交換、など。

（2）進め方

1) 事前の発表者募集

- ・社員、自治体会員、賛助会員、オブザーバから発表者を募る。
- ・希望者多数の場合は、事務局で調整。

2) 委員会当日の進め方

①前半（75分程度）

- ・発表：10分 → 質疑応答 5分（計 15分/件）×5件程度

②後半（45分程度）

- ・発表内容も踏まえたオープンデータの普及展開、地方創生等への活用促進に向けたディスカッション。

3) 委員会終了後

- ・発表資料、議事要旨等を VLED の Web サイトで公開。

(3) 開催スケジュール

回	開催日時	開催場所	開催内容
事前準備	-2015年9月	—	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の進め方の検討 ・開催日程調整 ・会員等からの発表募集など
第1回 (今回)	2015年 10月13日(火) 13:30-15:30	TKP 赤坂駅 カンファレンス センター	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動計画案 ・会員からの発表 ・意見交換：テーマ「オープンデータ活用ビジネスの創出と課題」
—	2015年 11月上旬	—	<ul style="list-style-type: none"> ・MA11(※1) 審査(応募期間8-10月) ・MA11 CivicTech 部門表彰
—	2015年11月 23-25日(3日間)	福岡市	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体職員向け研修、シンポジウム開催
第2回	2015年 12月8日(火) 15:00-17:00	(調整中)	<ul style="list-style-type: none"> ・MA11 及びシンポジウム報告 ・会員からの発表 ・意見交換：テーマ(案)「自治体におけるデータ活用」
第3回	2016年 2月2日(火) 13:30-15:30	(調整中)	<ul style="list-style-type: none"> ・会員からの発表 ・意見交換：テーマ(案)「地方創生とデータ活用」
—	2016年2月	—	<ul style="list-style-type: none"> ・勝手表彰 審査
第4回	2016年 3月11日(金) 13:30-15:30	(調整中)	<ul style="list-style-type: none"> ・勝手表彰 表彰式

※1 MA11：MashupAward11。国内最大級のアプリ開発コンテスト。VLED、総務省は Civictech 部門を担当(今年度から、オープンデータ部門と Civictech 部門が統合)。

<http://mashupaward.jp/>

※2 勝手表彰：オープンデータに関する優れた取り組みを「勝手に」選定・表彰。今年度で4回め。

http://www.vled.or.jp/news/1503/150324_001143.php (2014年度表彰者)

2. 自治体職員向け研修プログラム及び、オープンデータシンポジウムについて

(1) 全体概要

- ・開催日：2015年11月23日（月・祝）、24日（火）、25日（水）（二泊三日）
- ・開催場所：福岡市内

表 全体概要（予定）

日程	プログラム	会場	参加者
11/23（月・祝） 昼 -11/24（火） 昼	自治体職員向け 研修プログラム	セントラルホテルフクオカ 福岡市中央区渡辺通4丁目1-2	自治体職員
11/24（火） 午後	自由行動（オプション イベント検討中）		—
11/25（水）	シンポジウム	アクロス福岡 国際会議場 福岡市中央区天神 1-1-1	一般参加可

(2) 自治体職員向け研修プログラム

1) 開催概要

- ・開催日：2015年11月23日（月・祝）12:00 - 24日（火）12:00
- ・開催場所（予定）：セントラルホテルフクオカ ダイヤモンドホール B+C（交流会、宿泊も）
福岡県福岡市 中央区渡辺通4-1-2（天神駅徒歩5分）
- ・主催：VLED
- ・協力（予定）：福岡市、くまもとSMILE ネットなど
- ・対象：自治体職員
- ・参加人数：30-40名程度
- ・参加費：無料（旅費・宿泊費等は各自負担。ただし、VLED自治体会員は旅費・宿泊費をVLEDが1自治体1名まで負担）

2) プログラム（案）

1日目：2015年11月23日（月・祝）

時間	内容
12:00	集合
13:00-13:30	オリエンテーション
13:30-16:30	グループに分かれて自己紹介、ワークショップ 研修プログラム：「SIM 2030」
16:30-17:30	発表・意見交換
18:00-20:00	交流会（夕食）
宿泊	研修施設に宿泊

2日目：2015年11月24日（火）

時間	内容
	起床・朝食
10:00-11:00	グループディスカッション 1日目のワークショップに参加した感想、自治体の人材育成に関する課題など
11:00-12:00	発表・意見交換
12:00	解散
午後	自由行動（オプションイベントを検討中）
宿泊	翌日のシンポジウムに参加する人は同じ宿に宿泊

(3) シンポジウムについて

1) 開催概要

- ・開催日：2015年11月25日（水）10:30-17:00（予定）
- ・開催場所：アクロス福岡 国際会議場
- ・主催：VLED、総務省
- ・後援（今後、依頼・調整）：福岡市など
- ・参加人数：150名程度（予定）
- ・参加費：無料
- ・対象：オープンデータ、ビッグデータや地方創生に関心がある自治体職員、企業、NPO など

表 施設の概要

会場名	住所	アクセス	収納人数
アクロス福岡 国際会議場	福岡市中央区 天神1丁目1番1号	地下鉄空港線 天神駅 徒歩3分	スクール形式 198席



図 アクロス福岡 国際会議場

2) プログラム (案)

時間	内容
10:00	開場
10:30	開会
10:30-10:35	開会挨拶 (総務省)
10:35-12:00	<p>特別鼎談「地方創生と ICT 活用」(仮題) (登壇者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高島宗一郎福岡市長 ・坂村健 VLED 会長 (東京大学教授) ・総務省 (統括官クラスで調整中) <p>※各登壇者から 15 分ずつ発表の後、40 分鼎談</p>
12:00-13:00	昼食休憩
13:00-14:30	<p>オープンデータ活用ビジネスの可能性と課題 (仮題) (登壇者：一部調整中)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株) ウェルモ (福岡市内のオープンデータを活用した介護事業者情報サービス) ・(株) Zaim (家計簿アプリに全国自治体の補助・控除情報を掲載) ・Otani&Co., Inc. (オープンデータを活用した不動産価値予測サービス GEE0) ・(株) パブリカ (自治体広報誌などオープンデータ活用サービスを立ち上げ) ・Double Standard Inc. (企業が必要とする官民の情報を収集・提供) ・(株) リクルート (suumo で都市魅力情報の提供などを計画中) <p>※各登壇者 15 分ずつ発表 (6 社程度を予定)</p>
14:30-14:45	休憩
14:45-16:50	<p>オープンデータサミット 国内オープンデータ関連団体が一同に介して、今後取り組むべき課題や方向性などを議論 (登壇者：一部調整中)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Code for Japan、OKFJ、大阪イノベーションハブ、オープンガバメント協議会、公共交通オープンデータ協議会、Linked Open Data Initiative、オープンコーポレイツジャパン、ビッグデータ&オープンデータ研究会 in 九州 (BODIK)、VLED など <p>※各団体 5 分ずつ活動紹介した後、パネルディスカッション</p>
16:50-17:00	閉会挨拶
17:00	閉会

3. MA11 について

1) MA11 全体概要

- ・応募期間：2015年8月20日（木） - 10月19日（月）
- ・CIVICTECH 部門賞 プレゼン及び審査：2015年11月8日（日）
- ・ファイナルステージ プレゼン及び審査：2015年11月18日（水）

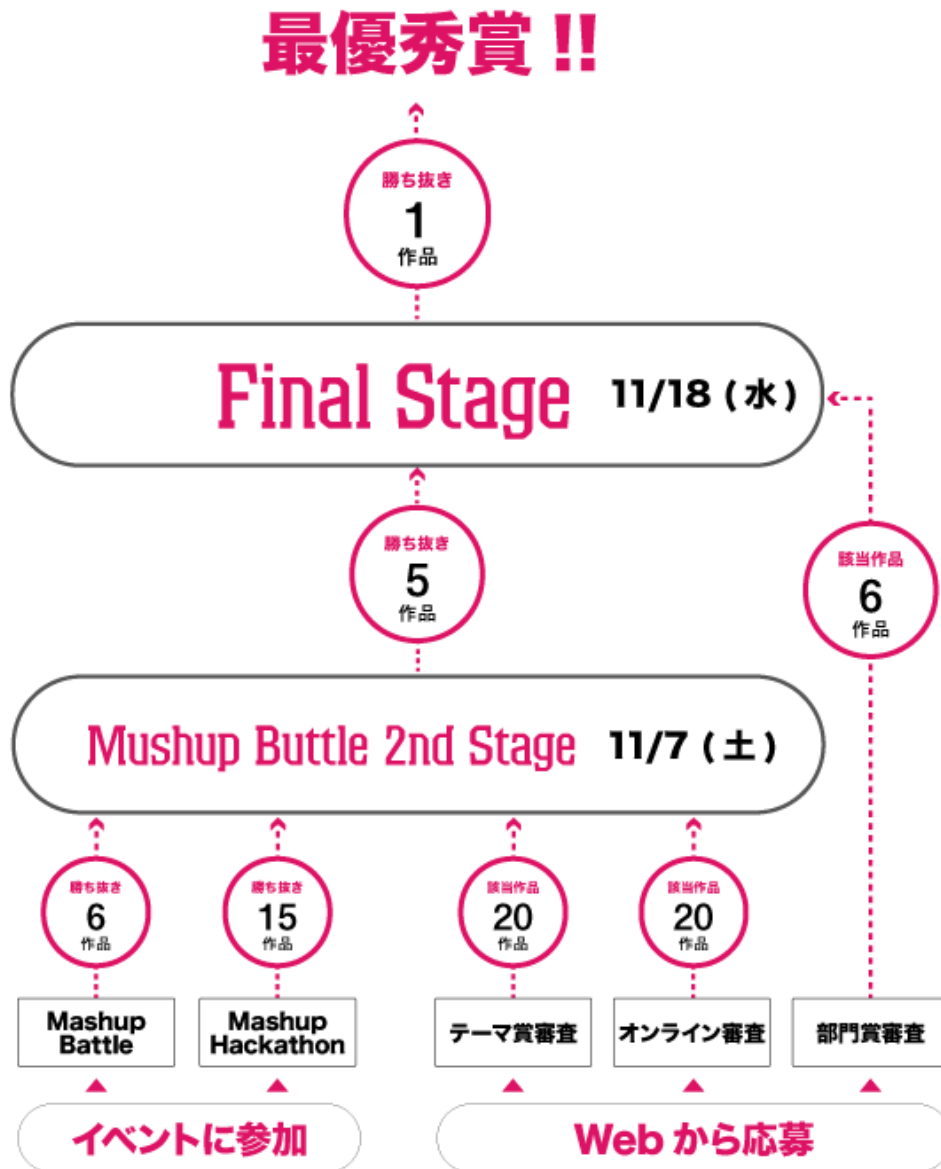


図 MA11 の全体概要

http://mashupaward.jp/about/about_mashupawards/

2) CIVICTECH 部門賞概要

- ・VLED では、Mashup Awards 11 の部門賞である「CIVICTECH 部門賞」を Code for Japan、総務省とともに主催しています。VLED 関係では、以下の 2 つの審査・選考を行います。
- ・オープンデータ賞：昨年に引き続き VLED 利活用・普及委員会委員による審査を予定しています。
- ・オープンデータパートナー賞：オープンパートナーの投票により選定します。

・賞構成：

賞		概要
CIVICTECH 部門賞（1 作品） （賞金：20 万円） →ファイナルステージに進出		下記の 10 作品が、11/8（日）、東京都豊島区で開催する Code for Japan Summit で 5 分間のプレゼンテーションを行い、CIVICTECH 部門賞を決定。
カテゴリ賞 （4 作品）	オープンデータ賞（1 作品） （賞金：5 万円）	CIVICTECH 部門応募アプリのうち、オープンデータを活用したものを対象に審査委員（VLED 利活用・普及委員会委員を想定）により選定。
	オープンデータパートナー賞（1 作品） （副賞：地域の特産品等）	CIVICTECH 部門応募アプリのうち、オープンデータを活用したものを対象に、オープンデータパートナーが投票を行い、その結果をもとに選定。
	CIVICTECH for Business 賞（1 作品） （賞金：5 万円）	CIVICTECH プロダクトのビジネス性を評価し選出。
	CIVICTECHfor Citizen 賞（1 作品） （賞金：5 万円）	CIVICTECH の市民に向けた取組を評価し選出。
オンライン選考（3 作品）		オンライン審査はパートナーと共同で Mashup Awards 運営事務局が行う。
CIVICTECH 賞作品（3 作品）		各地の CIVICTECH ハッカソン（北陸、生駒、会津）で CIVICTECH 賞を受賞した作品。

<http://mashupaward.jp/about/prize/>